

2023年12月15日
第169号号外

発行：日本臨床検査技師連盟
発行責任者：滝野寿・深澤恵治
編集担当者：日技連事務局

日本臨床検査技師連盟ニュース

◆◆連盟ニュース◆◆

今号の主な内容

- ◇ 自由民主党「臨床検査に関する制度推進議員連盟」開催報告
- ◇ 11月の主な活動

自由民主党「臨床検査に関する制度推進議員連盟」開催報告

12月6日 自由民主党「臨床検査に関する制度推進議員連盟」(衛藤征士郎会長)が衆議院議員会館会議室で開催された、日本臨床衛生検査技師会と日本臨床検査技師連盟の連名で要望した「令和6年度予算・税制等に関する要望書/一般政策要求」について説明を行いその必要性を求めた。出席した国会議員から「厚労省は早急に対応すべき」との意見が上がった。出席していた厚生労働省の担当官からは厚生労働研究班の調査報告が来年5月にまとまる見通しで、「研究結果が今後出てくるので結果を見て検討したい」と発言があった。これに対して、国会議員から次の要望があった。

○三ツ林裕日衆院議員：細胞判定などでの業務独占の要望について「(臨床検査を)誰がやっても構わないのは明らかに間違いだ」

○古川俊治氏参院議員(議連幹事長)：内部・外部精度管理の義務化について「(現場では)現に実施されている」、「体制等の現状や問題を整理しさまざまな課題を検討する」など今後ゲノム検査も院内で行われるとして「早急にやってほしい」タスクシフト/シェアで検査技師ができる業務の明確化については、「医行為ではないものは実施できるのが原則」とし 要望の内容に沿った対応を求めた。

当日は日本臨床衛生検査技師会から宮島会長や神山清志執行理事、日本臨床検査技師連盟から長沢光章代表や深澤恵治幹事長、滝野寿事務局長ら計26人が出席した。

自由民主党「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟」
 2023/12/6
 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
 代表理事 会長 高島 啓文
 代表 長沢 光章

会長 衛藤 征士郎 様
 幹事長 古川 俊治 様
 事務局長 畦元 将吾 様

令和6年度 予算・税制等に関する要望書/一般政策要求

今般の新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症 (COVID-19) については、本年5月に5類感染症への移行を踏まえ、今後も発生するであろう新興感染症への備え等についての要望をまとめましたので要望致します。
 また、医療技術の進歩と細分化、医療環境の変化に対応するため、医療提供体制の更なる整備促進は政府として喫緊の課題と考えられていますが、当会も、臨床検査の専門家集団として、医療現場において「国民に質の高い医療を提供する」ために次の事項について要望致します。何卒、ご配慮いただけますようお願い致します。

- 新興感染症に対する体制整備の要望
 - ・ 厚労省への臨床検査技師配置強化の要望…………… P1
 - ・ 臨床検査技師の実人員把握のための関係法令の一部改正…………… P2
- タスク・シフト/シェアを推進するための要望
 - ・ 医師の働き方改革に資するタスク・シフト/シェア推進のための臨床検査技師複数配置への診療報酬上の評価の要望…………… P3
 - ・ (追加) 心臓カテーテル室における検査・治療の補助業務に関する実施の可否の明確化…………… P4
- 国民の健康を回る検体検査の品質・精度確保のための要望
 - ・ 精度管理の義務化の要望…………… P5
 - ・ 高度な知識・技術を必要とする検体検査の品質の確保のための人的要件新設の要望…………… P6
- 在宅医療の充実のための体制整備の要望
 - ・ 臨床検査技師の介護支援専門員 (ケアマネジャー) の受験資格付与の要望…………… P7
- 医療機関等における臨床検査技師の処遇改善に繋がる財政措置の要望
 - ・ 処遇に対する抜本的改善要望…………… P8



衛藤征士郎
会長(上)



長沢連盟代表 (上)
出席いただいた 日臨技、
日技連の関係者 (左)



11月の主な活動 11月29日日本放射線技師連盟/日本臨床検査技師連盟と定期的連絡懇話会を開催しました。両団体での互いの活動状況を共有し、共同して要望事項等を進めていく会を定期的に行っています。